

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

小学生による水生生物調査を実施します

「水生生物による水質の簡易調査」は昭和59年から始めており、河川と親しみながら、河川の水質状況を把握し、水質保全施策の基礎資料を得るとともに、調査を通じて私たちの身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

水生生物調査は誰でも簡単に参加でき、高価な機材を必要としないため、水遊び感覚で川底の生物を採取して、その種類や数を調べることで川の水質を簡単に知ることができます。

毎年子供たちに参加していただき、調査を行っており、本年度も下記の予定で実施します。

記

実施日	実施時間	実施場所	参加学校
平成23年8月30日	10:00～	鳥取市源太（千代川）	鳥取大学附属小学校
平成23年8月31日	10:00～	鳥取市古市（千代川）	鳥取大学附属小学校
平成23年9月2日	10:00～	鳥取市河原町袋河原（千代川）	鳥取市立河原第一小学校
平成23年9月6日	10:00～	鳥取市用瀬町用瀬（千代川）	鳥取市立用瀬小学校
平成23年9月8日	10:00～	鳥取市大杵（袋川）	鳥取市立日進小学校
平成23年9月15日	10:00～	鳥取市国府町町屋（袋川）	鳥取市立宮ノ下小学校

※ 荒天時、河川の水かさが高い場合は中止または延期することがあります。

なお、7月19日に実施予定だった大杵（袋川）、21日に実施予定だった国府町町屋（袋川）については、台風による荒天のため、9月8日及び15日に延期しております。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435（代表）

FAX 0857-29-1819

【担当】 副 所 長

いぬやま ただし
犬山 正

【担当】 河川管理課長

くにもと ちかのり
國本 哉智

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

全国水生生物調査の概要

【参考1】

川の中には様々な生きものが住んでいます。特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、30種を指標生物としています。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、Ⅰ(きれいな水)、Ⅱ(少しきたない水)、Ⅲ(きたない水)、Ⅳ(大変きたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。

水質階級と指標生物



きれいな水 (Ⅰ) の指標生物		少しきたない水 (Ⅱ) の指標生物	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドROMシ	○ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サワガニ	ゲンジボタル	○イシマキガイ
	ウズムシ		カワナナ
きたない水 (Ⅲ) の指標生物		大変きたない水 (Ⅳ) の指標生物	
ミズカマキリ	○ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
○イソコツブムシ			

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

○調査方法

- 1) 調査地点は、水深が30cm位で流れがあり、こぶしや頭くらいの大きさの石が多いところを原則とします。
- 2) 調査地点の下流側にアミをおきながら、その地点の石のいくつかを取り上げ、石の表面にいる生物を採取します。
- 3) また、石を取り上げた後の川底を足でかき混ぜて流れてくる生物をアミで受け、アミに残った生物も採取します。川底が砂や泥の場合には、この方法のみで生物を採取します。
- 4) 採取した生物の種類を確認します。見つかった指標生物の種類及び個体数を記録し、その結果に応じて調査地点の水質階級を判定します。

○指標生物の種類

水質階級毎の指標生物は下表のとおりです。

I :きれいな水の生物	II :少しきたない水の生物
カワゲラ ナガレトビケラ ヤマトビケラ ヒラタカゲロウ ヘビトンボ ブユ アミカ ウズムシ サワガニ	コガタシマトビケラ オオシマトビケラ ヒラタドロムシ ゲンジボタル コオニヤンマ カワニナ スジエビ ○ヤマトシジミ ○イシマキガイ
III :きたない水の生物	IV :大変きたない水の生物
ミズムシ ミズカマキリ タイコウチ ヒル タニシ ○イソコツブムシ ○ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ チョウバエ エラミミズ サカマキガイ アメリカザリガニ

(注)○は、海水の少しまじっている汽水域の生物

○判定方法

水質階級の判定方法は、調査地点毎に出現した個体数の多かった指標生物2種類(ただし、3種類の指標生物についてほぼ同じ個体数であった場合は、最大3種類)については2点、それ以外の指標生物については1点として点数をつける。

各階級ごとに各指標生物の点数を合計する。

点数のもっとも高い階級をその地点の水質階級と判定する。

ただし、複数の階級について同点がある場合には、水質の良い階級をその地点の階級とする。例えば、階級Iと階級IIIが同点の場合は階級Iとする。

○水生生物調査実施状況



平成22年度 水生生物による水質測定の結果

●：特に多く確認された（2点）、○：確認された（1点）

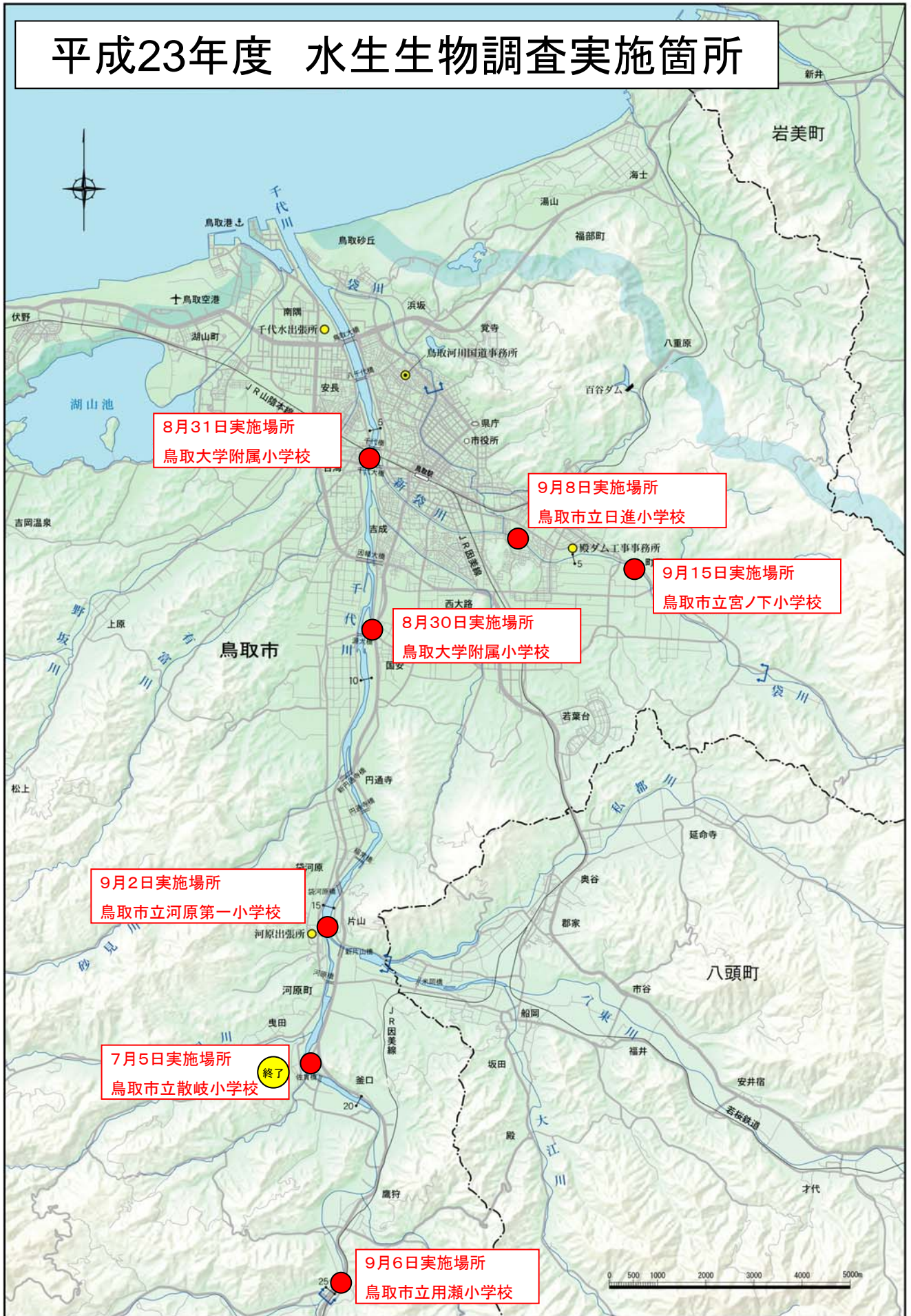
河川名	調査地点名	きれいな水									少しかたない水									きたない水					大変きたない水					判定 水質階級						
		カワゲラ	ナガレトビケラ	ヤマトビケラ	ヒラタカガロウ	ヘビトンボ	ブユ	アマカ	ウズムシ	サワガニ	合計得点	コガタマトビケラ	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ	スジエビ	ヤマトシジミ	イシマキガイ	合計得点	ミズムシ	ミズカマキリ	タイコウチ	ヒル	タニシ	イソコツブムシ	ニホトコエビ	合計得点		セスジユスリカ	チョウバエ	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	合計得点
千代川	用瀬		○	○	●			●	○	7			○			○				2				○					1						0	I
〃	佐貫	●	●		○					5			○		○					2				○					1						0	I
〃	袋河原	●	○		●					5			○							1									0						0	I
〃	源太	○	○		○			●		5			●				○			3				○					1		○				1	I
〃	行徳	○	○		○	○				4			●			●				4	○								1				○		1	I
八東川	片山	○			●			○		4	●		○							3									0						0	I
袋川	町屋	○	○							2			●		○	○	●			6									0				○		1	II
〃	大杵	●	○							3		○	●			○	○			5				○					1						0	II

平成23年度 調査済み箇所における水生生物による水質測定の結果

●：特に多く確認された（2点）、○：確認された（1点）

河川名	調査地点名	きれいな水									少しかたない水									きたない水					大変きたない水					判定 水質階級						
		カワゲラ	ナガレトビケラ	ヤマトビケラ	ヒラタカガロウ	ヘビトンボ	ブユ	アマカ	ウズムシ	サワガニ	合計得点	コガタマトビケラ	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ	スジエビ	ヤマトシジミ	イシマキガイ	合計得点	ミズムシ	ミズカマキリ	タイコウチ	ヒル	タニシ	イソコツブムシ	ニホトコエビ	合計得点		セスジユスリカ	チョウバエ	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	合計得点
千代川	佐貫		●	○	●		○	○		7			●			○				3									0						0	I

平成23年度 水生生物調査実施箇所



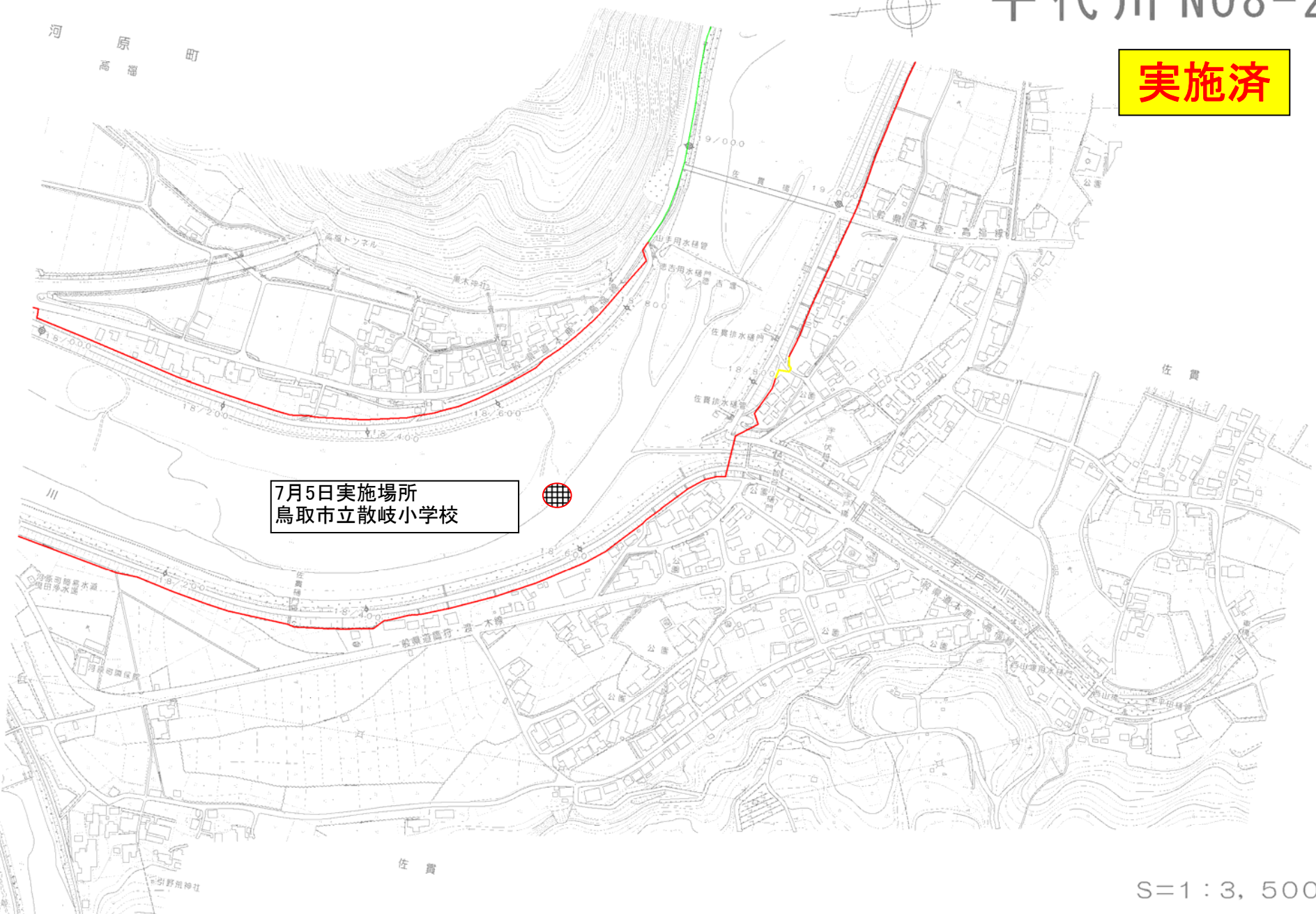
千代川 N08-2

実施済

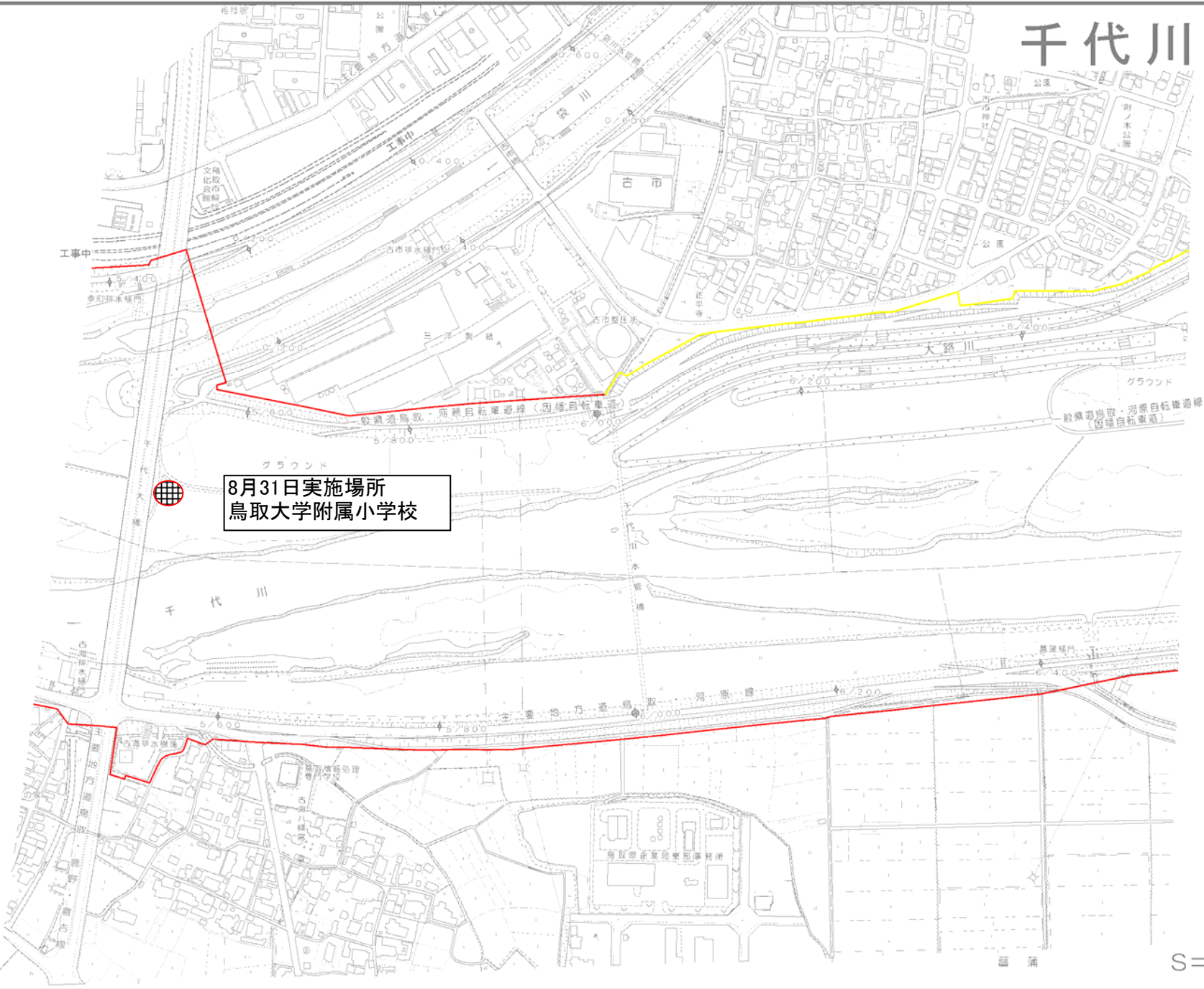
7月5日実施場所
鳥取市立散岐小学校



S=1:3,500



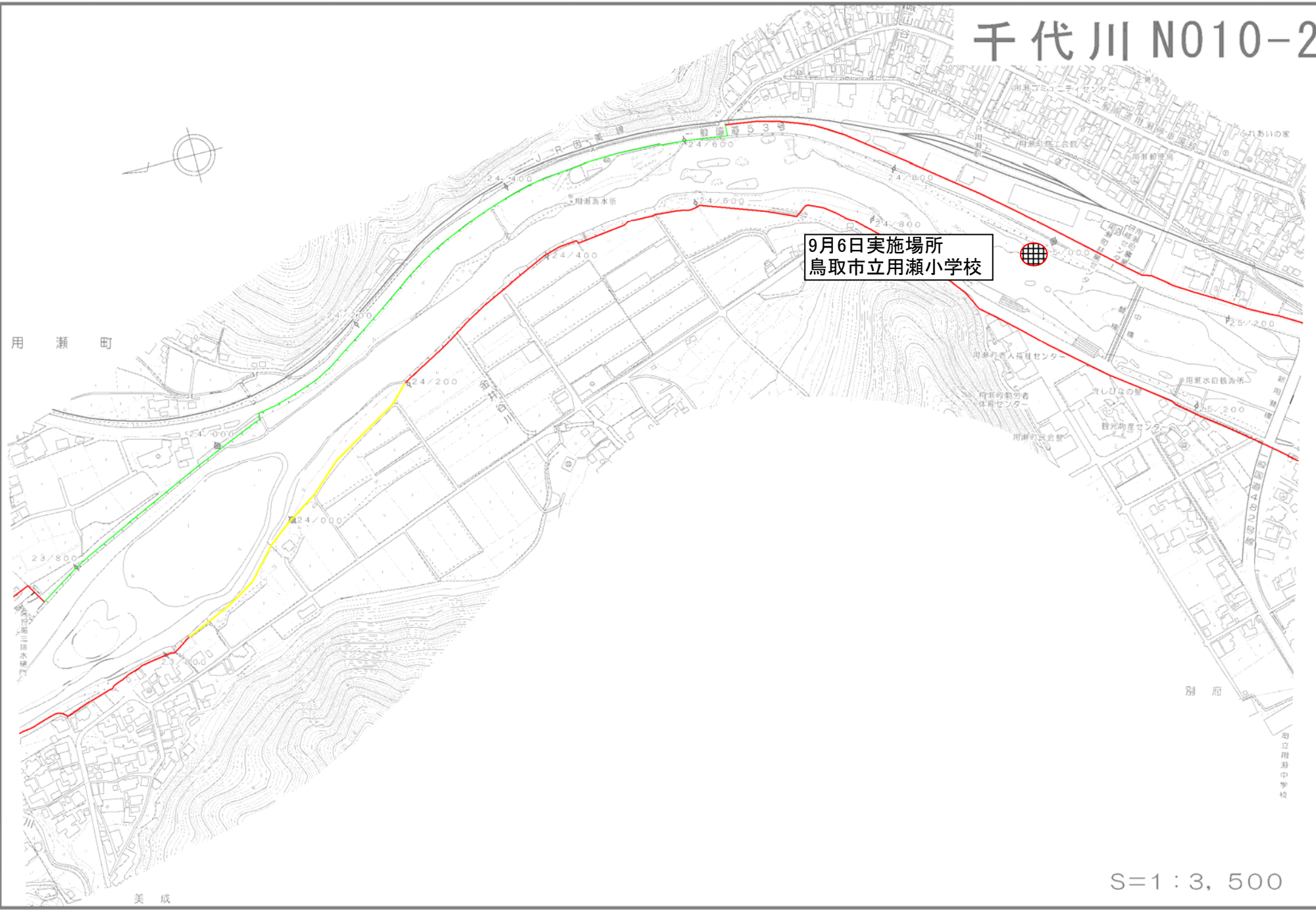
千代川 N03-2



8月31日実施場所
鳥取大学附属小学校

S=1 : 3, 500

千代川 N010-2



9月6日実施場所
鳥取市立用瀬小学校

S=1:3,500

